

車山チャレンジスキーキャンプ



- 開催日 2018年12月28日～30日
- 会場 車山高原スキー場（長野県茅野市）
- ディレクター名 稲松 謙太郎（ねずみ）

■キャンプのねらい

- 冬ならではの自然の魅力を楽しむ
- スキーチャレンジを通して、達成感を味わい、何事も前向きに取り組むチャレンジ心を育む

■同行スタッフ（キャンプネーム）

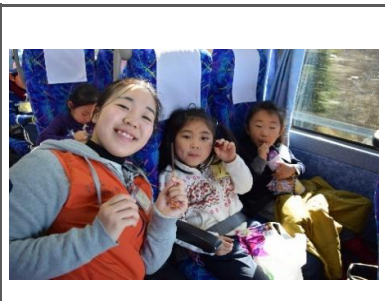
こばしり、トーちゃん、しばていん、らっしー、ゆっきん、ザビ、ケロ、レッサー、びっきー、しんちゃん

■活動内容

<1日目>
集合、スキー場到着
足慣らし
入浴、夕食
スキークイズ大会、就寝

<2日目>
スキーレッスン①
昼食
スキーレッスン②
入浴、夕食
大レクリエーション大会、就寝

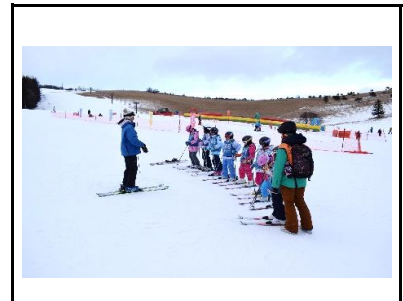
<3日目>
スキーレッスン③
着替え、昼食
スキー場出発、解散



バス内はテンション高め。スキーへの期待感にあふれていました。



車山に到着！お昼ごはんを食べたらスキーへ向かおう！



1日目のスキーレッスン開始。ワクワクドキドキ。



久々のスキーで少し緊張気味？足慣らしレッスンで思い出せたかな？



1日目の夕食。豪華な食事で移動とスキーの疲れを癒やします。



夜のつどい。2日目も晴れるようにみんなで「にじ」を歌いました。



2日目のスキーレッスン開始。初めての子どもたちも気合い十分です。



できることがどんどん増える。子どもたちの表情も最高です。



中級班はリフトに乗ってゲレンデへ。滑走量を増やします。



午後には初心班も自分で滑って止まれるようになりました。



やっぱりスキーは楽しいね！スキー大好きー!!



大レク大会。キャンプカウンセラーたちが得意のレクで盛り上げます。



子どもたちもノリノリ。みんなで楽しい時間を過ごしました。



3日目。天気も最高。夜に雪も降ってコンディションは抜群です。



3日目となれば、スピードコントロールもお手のもの？



上級班は車山山頂で記念撮影！一番高いところから滑りました。



スキー楽しかったー。またやりたい！雪を最後まで楽しみました。



期間中、1人1回みんなの前で挨拶することにもチャレンジしました。

■キャンプのエピソード

音を立てて成長する

「スキーがうまくなりたかったらとにかく雪の上になさい」。スキーを教わった方からもらった言葉です。子どものスキーでは「雪の上にいる時間」を確保するのがなかなか難しいのです。生活や準備の時間にある程度の時間がかかるし、体力のそう多くない子どもたちと安全に楽しくスキーをするには、休憩の時間も不可欠です。しかし、大人の心配をよそに、子どもたちは自分でスキーの時間を確保するようになります。1日目には自分でできなかった準備を2日目にはやるようになります。止まらなかったスキーも、できなかったターンも徐々にできるようになっていきます。これは、子どもの持っている「やりたい気持ち」の表れだと思っています。それを持ち合わせた子どもたちの成長は、まさに音を立ててメキメキと…。これはスキー技術に限らずです。そしてできることが増えた時の表情は、何とも言い表せない「すてきな顔」なのです。子どもたちがスキーに没頭する姿を見ながら負けていられないなと感じた2泊3日でした。

子どもならではの表現

スキーは今回のキャンプが初めてだったその子と一緒にリフトに乗った時のことでした。「初めてのスキーは楽しい？」「うん。」その子はちょっと緊張しているようでした。「向こうの景色きれいだね」「上から滑るの楽しみだね」とこちらから会話をしかけながらリフトに乗っていると、その子が突然「ねーねー。なんか田んぼに牛乳こぼしたみたいだね」と。思わず吹き出してしまいました。確かに、足元に見えるグレンデにはブッシュが出ていて、そこにフワッと雪が積もり、稲を刈ったあとの田んぼに牛乳をこれでもかと流し込んだように見えました。今持っている、決して多くない知識とボキャブラリーで表現をする。本当はもっともっと多くのことを感じているに違いないと確信した瞬間でした。思えば、スキーのあとの感想タイムや子どもたちの日記は「子どもならではの表現」にあふれています。ひとりひとりの感覚を大切に、子どもの伝えたい気持ちに常に寄り添えるキャンプをこれからも目指していきます。